

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第12週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

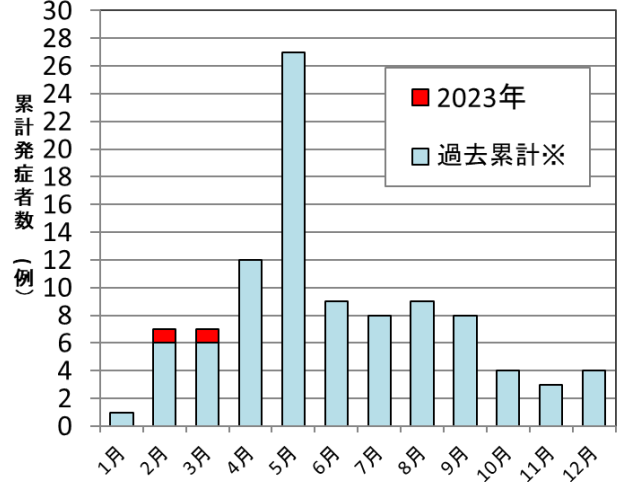
(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は60歳代の男性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計99例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	4	23	38	25	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が313例あり、先週(404例)の約0.8倍であった。2023年の累積報告数は55,365例となった。
※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2022年まで

全数報告の感染症 (12週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。
- 3類感染症：報告なし。4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：アメーバ赤痢1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒5例、播種性クリプトコックス症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	70歳代	男	結核性胸膜炎	呼吸困難
		延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
90歳代	女		無症状病原体保有者	なし		
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、刺し口
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	60歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	発熱、腰痛、右膝関節痛、右足関節痛
	梅毒	宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし		
播種性クリプトコックス症	延岡	80歳代	男	—	胸部異常陰影	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は689人(定点当たり16.7)で、前週比94%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

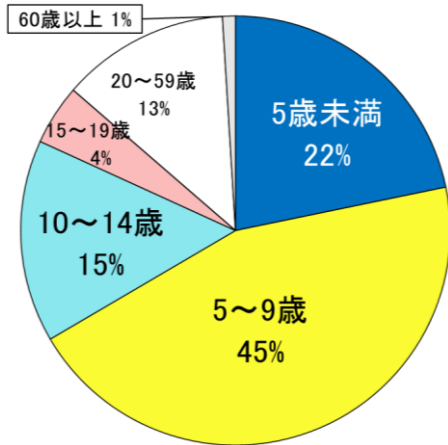
報告数は308人(5.3)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.7)の約3.2倍であった。日向(13.0)、延岡(9.9)、高鍋(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は5歳から9歳が全体の4割を占めた。

【感染性胃腸炎】

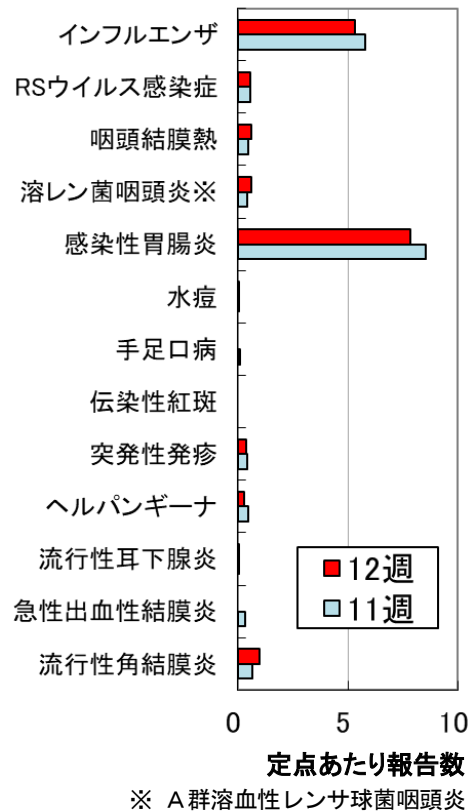
報告数は283人(7.9)で、前週比92%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(7.1)の約1.1倍であった。都城、中央(12.0)、高千穂(11.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

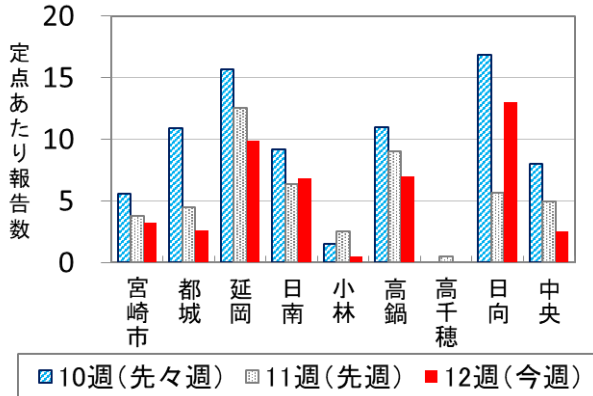
インフルエンザ年齢群別グラフ(第12週)



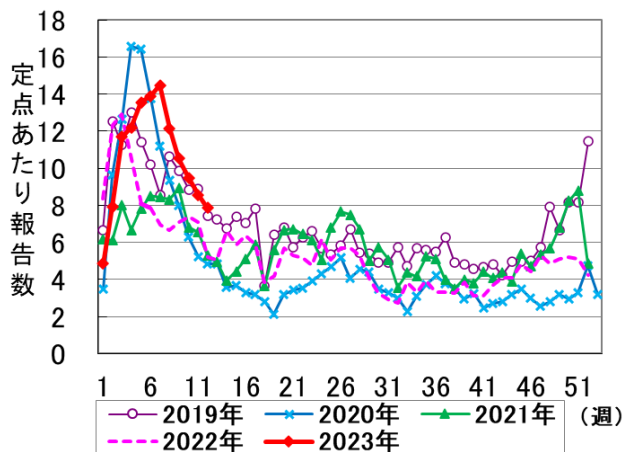
《前週との比較》



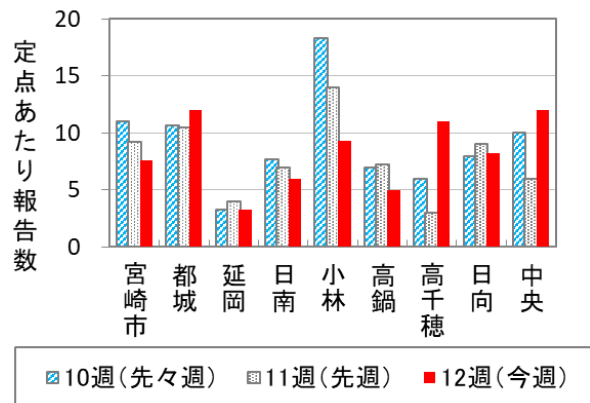
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(13.0)
中央	なし

* 流行注意報レベル基準値*
・インフルエンザ(10)

📊 全国 2023 年第 11 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	186 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	2 例				
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	1 例	サル痘	11 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	2 例
	レジオネラ症	18 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例
	急性脳炎	6 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	35 例
	水痘(入院例)	5 例	梅毒	160 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	8 例	風しん	2 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 83%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 41,319 人(8.4)で前週比 76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約 3.1 倍であった。新潟県(19.5)、富山県(18.4)、岩手県(16.7)からの報告が多く、年齢群別では5歳から9歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 16,767 人(5.4)で前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.9)の約 1.4 倍であった。大分県(12.8)、鹿児島県、愛媛県(10.4)からの報告が多く、年齢群別では1歳から5歳が全体の約 6 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2023年 第12週(03月20日～03月26日)

疾病名		第11週	第12週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	335	308	52	26	69	34	2	42		78	5
	定点当り	5.78	5.31	3.25	2.60	9.86	6.80	0.50	7.00	0.00	13.00	2.50
RSウイルス 感染症	報告数	20	20	7		2	4		3		1	3
	定点当り	0.56	0.56	0.70	0.00	0.50	1.33	0.00	0.75	0.00	0.25	3.00
咽頭結膜熱	報告数	17	22	13	2		1	2	3		1	
	定点当り	0.47	0.61	1.30	0.33	0.00	0.33	0.67	0.75	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	15	22	2	5	1	4	1			3	6
	定点当り	0.42	0.61	0.20	0.83	0.25	1.33	0.33	0.00	0.00	0.75	6.00
感染性胃腸炎	報告数	308	283	76	72	13	18	28	20	11	33	12
	定点当り	8.56	7.86	7.60	12.00	3.25	6.00	9.33	5.00	11.00	8.25	12.00
水痘	報告数	2	2					2				
	定点当り	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	16	14	5	5	1		1	1		1	
	定点当り	0.44	0.39	0.50	0.83	0.25	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	17	10	2	1	5			2			
	定点当り	0.47	0.28	0.20	0.17	1.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	1							1	
	定点当り	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数	2										
	定点当り	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	6	4	2							
	定点当り	0.67	1.00	1.33	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～12週)

2類感染症	結核	29例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)	つつが虫病	9例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例(1)	ウイルス性肝炎	2例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	1例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	44例(5)
	百日咳	3例	播種性クリプトコックス症	1例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	55365例(313)		

()内は今週届出分、再掲